

電材流通新聞

(昭和54年12月31日第三種郵便物認可)

第1961号 2015年(平成27年)1月5日(月曜日) (毎週木曜日発行) 増刊

年頭所感

株式会社明工社・明工商事株式会社 代表取締役
役員社長 株式会社福島明工社

代表取締役社長 川村龍俊



地補助金を受けた新金型・成形工場が竣工し、社員数

一手前を二手先へ繋げ!

2014年の当欄で、私は「経営課題とは会社が生き延びられるかどうかである」と書きました。5月にはふくしま産業復興企業立

も前年より10名以上増え、しかも現在は、毎日残業部隊が遅くまで働かねば納期に間に合わないほどの注文をいただいております。どうやら1年は生き延びられたようです。

2009〜2011年度の中期経営計画は「ちゃんとする」でした。この間、私は工場のメンバーと共に、後に「品質の明工」と

呼ばれるようになるための下地作り、特に5Sの徹底をはかってきました。そして最後の年に東日本大震災に罹りました。

2012〜2014年度の中期経営計画は「うっての中期経営計画は「うって」で銘打って、復旧なっ製造拠点福島明工社を中心に、新製品を定期的に市場へ問うため、設計から組立まで淀みのない流れを作り出そうと努力を重ねてきました。また、全国の営業

所長の若返りをほかり、社員自らが定めた計画のPDCAを回し、目標管理の行える幹部の養成にも力を注ぎました。

任し、福島で仕事をするこ

2012〜2014年度の中期経営計画は「うっての中期経営計画は「うって」で銘打って、復旧なっ製造拠点福島明工社を中心に、新製品を定期的に市場へ問うため、設計から組立まで淀みのない流れを作り出そうと努力を重ねてきました。また、全国の営業

生き延びた後に何をやるのか。あるいは、生き延び続けるためには何をしなくてはいけないのか。

そこでは、2015〜2017年度の中期経営計画は「一手前を活かし、二手先へ繋げ!」とします。震災はもとより、数々の困難を生き延びてきた社員全員の手にお客様からの信頼を元手に、一所懸命働いただけでなく、「知恵を絞って」世の中に貢献していかなければ、その思いをこめてい

本年の明工社グループの仕事に、どうぞご期待ください。